

製品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取り付けください。
取付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください。)

取付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。

- この説明書では機器を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示の意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の総表示で区分し、説明しています。

表示	意味
	この表示の欄の内容を無視して誤った取扱いをすると、傷害又は物的損害が発生する可能性があります。

	してはいけない「禁止」内容です。
	分解しないでください。
	必ず実行していただく「強制」内容です。

注意	
	<p>湯水を逆に配管しないでください。</p> <p>水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。</p>
	<p>給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。</p> <p>85℃より高温で使用になると、器具の寿命が短くなり、水栓が破損し、水漏れのため家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
	<p>製品に強い力や衝撃を与えないでください。</p> <p>故障や水漏れの原因になります。</p>

注意	
<p></p> <p>分解禁止</p>	<p>修理技術者以外の人は、水栓本体内部を分解しないでください。</p> <p>故障や水漏れの原因になります。</p>
<p></p> <p>禁止</p>	<p>寒冷地用</p> <p>水抜きコックは水抜き以外の目的で開けないでください。</p> <p>水抜きコックをいきなり開けると高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が噴き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
<p></p> <p>必ず実行</p>	<p>寒冷地用</p> <p>凍結が予想される場所でご使用になる場合は、「 寒冷地用の水抜き方法」を参照の上、凍結予防を確実に実施してください。</p> <p>部品が破損し、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>

03693 2001.11 2001.10.23

2 仕様

給水・給湯圧力	使用必要水圧	0.05MPa(流動圧)
	最高水圧	0.75MPa(静水圧)
使用最高温度	85℃以下	
使用可能水質	水道水及び飲用可能な井戸水	
使用環境温度	-20~40℃ (ただし、0℃以下は水を抜いた状態)	
用途	一般住宅洗面所用	

3 取付け前に

- 給水圧力が0.75MPaを越える場合は、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。
- 給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。
- 誤操作などによるやけど防止のため、60℃給湯をおすすめします。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 水勢調節及び器具の点検を容易にするために、別途止水栓を必ずご用意ください。
- 通水検査をしていますので水が残っている場合がありますが、商品には問題ありません。

4 部品の確認

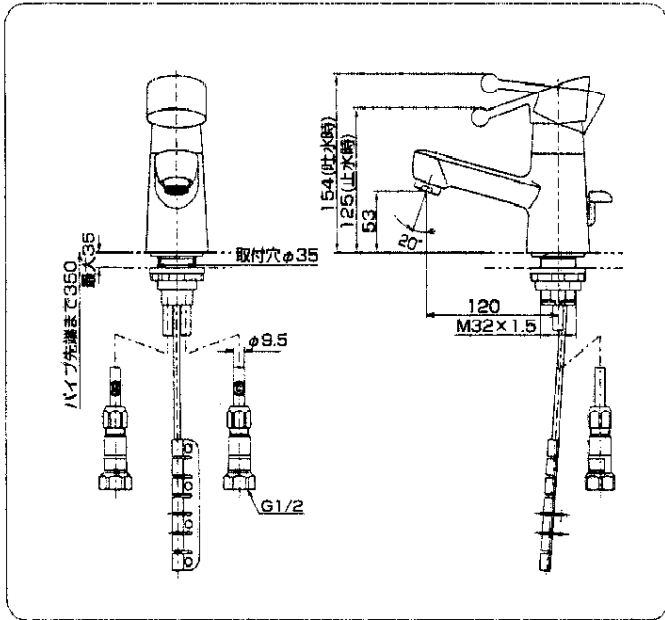
次の部品があることを確認してください。

水栓本体部	
その他	

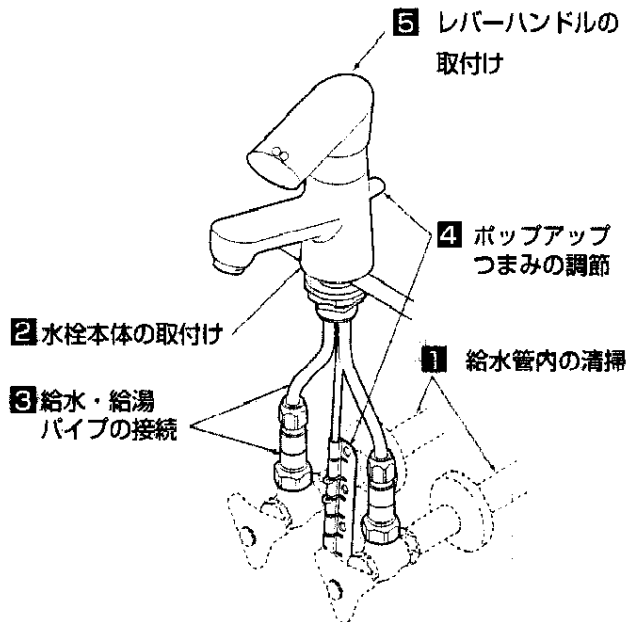
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。

5 完成図

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なることがあります。



6 施工手順



1 給水管内の清掃
器具を取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。

重要

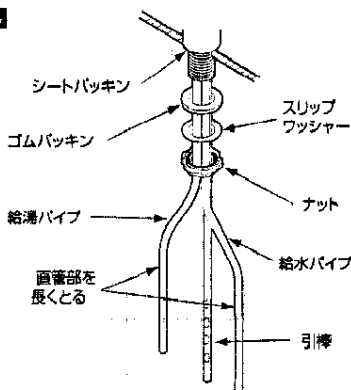
6-2

2 水栓本体の取付け

- 1 水栓本体が正面を向くように仮固定する。
- 2 給水・給湯パイプを「水栓の取出し」の向きに合うように曲げ広げる。

注意

できるだけ直管部が長くなるようにしてください。また、給水・給湯パイプがぶれないように注意してください。



- 3 ソケットを止水栓に仮固定する。
- 4 給水・給湯パイプの必要長さを確認し、切断する。

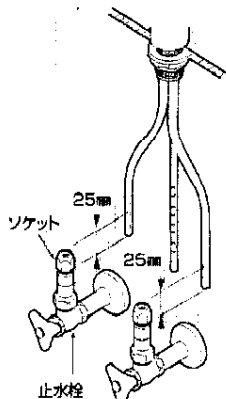
注意

パイプの差込代は約25mm確保してください。

- 5 取付穴周囲の汚れを取る。
- 6 セパレート紙をはがし、水栓本体を本固定する。

注意

固定には別売の締付専用工具 (TZ33) を利用して確実に締め付けてください。



3 給水・給湯パイプの接続

- 1 給水・給湯パイプに袋ナット、テーパリング、パッキンガイド、パッキンの順に入れて、ソケットを差し込む。

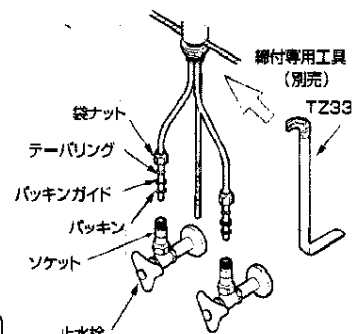
- 2 ソケットを止水栓にねじ込む。
- 3 パッキンをパッキンガイドに入れ、ソケットに押し付け、手締めで袋ナットを締め付ける。
- 4 更に工具で1回転以上締め付ける。

注意

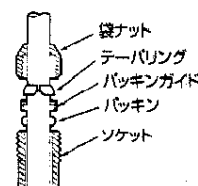
給水・給湯パイプの抜け防止のため、給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。

注意

袋ナット・テーパリング・パッキンガイド・パッキンの順番、向きを間違えないように接続してください。水漏れのおそれがあります。

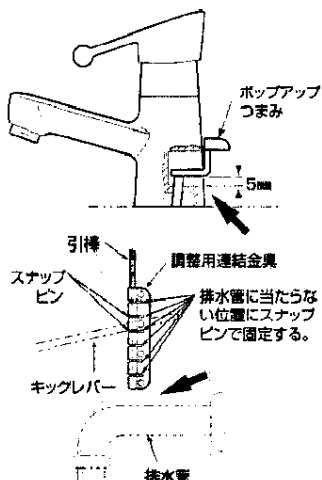


重要



4 ポップアップつまみの調節

①本体とポップアップつまみのすきまが5mmになるように調節する。



②引棒とキックレバーを調整用連結金具で固定し、スナップピンを差し込む。

③ポップアップつまみをいったん押し下げたとき本体及び排水管にあたらぬように確認する。

使用上の注意

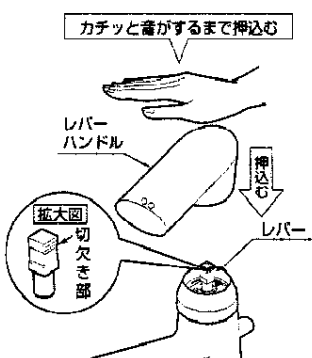
ご使用中に以下のような現象が発生することがありますが、**故障ではありません。**お客様に十分ご説明ください。

現象	説明
急に湯・水を止めると、ハンドル操作が重たく感じる場合があります。	急に水を止めると、「ドン」といった不快な音が発生することがあります。この商品は、急なハンドル操作をしたときに抵抗をもたせることで、この不快な現象を低減させる機構がはたしているため、故障ではありません。
お使いはじめにくらべて、しばらくご使用されると、ハンドル操作が重く感じてくる場合があります。	ご使用により商品内部の部品がなじみ、安定したことによるもので、故障ではありません。

5 レバーハンドルの取付け

①レバーハンドルとレバーの方向に注意し、押し込む。

②レバーハンドルが容易に抜けないことを確認する。



注意

レバーハンドルとレバーの切欠きとの方向に注意してください。レバーの切欠きは**向き**にあります。

8 点検項目

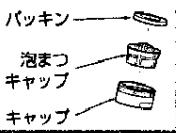
取付けが完了した後、次の項目を確認してください。

水出し確認

配管部の元栓を開け、スバウトから水が出るか確認してください。



吐水口



ポップアップの動作確認

ポップアップの動作はスムーズに行えるか確認してください。

ポップアップを押し下げたとき本体や排水管にあたっていませんか？

➡ 4 「ポップアップつまみの調節」参照

流量及び吐水温度の確認

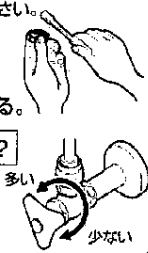
流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

吐水口のごみつまりはないですか？

➡ 吐水口の掃除をする。

止水栓は開いていますか？

➡ 止水栓で流量を調節する。



水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

給水・給湯パイプはソケットにしっかり差し込まれていますか？

➡ 2 「水栓本体の取付け」参照

6 「給水・給湯パイプの接続」参照

ガタツキの確認

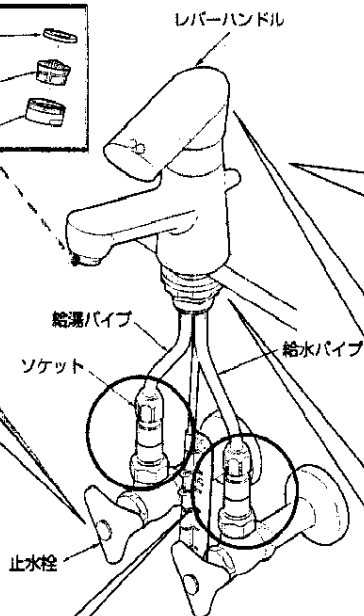
ガタツキがないか確認してください。

レバーハンドルはしっかり差し込まれていますか？

➡ 5 「レバーハンドルの取付け」参照

本体はしっかり固定されていますか？

➡ 2 「水栓本体の取付け」参照

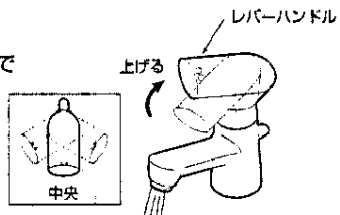


9 寒冷地用の水抜き方法

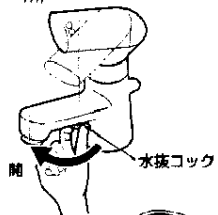
凍結が予想される時期に施工された場合は、水抜きを行っておいでください。
またお客様にも水抜き方法をご説明ください。

1. 配管部の元栓を閉め、水抜栓を開ける。

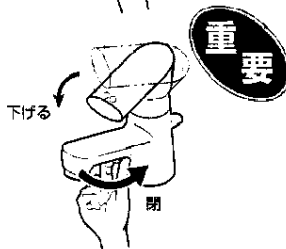
2. レバーハンドルを中央位置で上げる。



3. 水抜コックを開ける。



4. 水抜き完了後は必ず水抜コックを閉めてレバーハンドルを下げる。
(水が出ない状態)



※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

再生紙を使用しています。